



むらさき会だより

No.10

平成18年9月1日

山村学園むらさき会

校歌

一、富士の高嶺の白妙を
雲のあなたに仰ぎつゝ
学びの道を踏みわけて
やがて極めんいただきます
名は山村よ我等の学舎

二、清き流れの大利根や
行く手は速く広くとも
教えの海に漕ぎ出でて
底の真珠を探りなん
名は山村よ我等の学舎

三、初雁おとのお武蔵野に
紫におう藤の花
理想を高くかざしつゝ
いざや進まん諸共に
名は山村よ我等の学舎

ご挨拶



山村学園むらさき会
会長 田中久子

むらさき会会員の皆様、そして新会員となられた皆様、ご機嫌いかがですか。

会員相互の交流を深め、会への活動の協力を願ひむらさき会だよりを発行して、今年で十号となりました。学園の近況に、在学中には実感のなかった母校への伝統と、長い歴史に誇りを改めて感じます。また、会員の皆様のご活躍に心から声援をお送りいたします。発行にあたり

ましては、多くの方々のご寄稿をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。今年も、五月二十八日、

川越プリンスホテルに於いて、むらさき会総会、及び懇親会を開催いたしました。毎回、沢山の会員との親睦を願っているものの満足するまでには

いたっておりません。皆さん一日を、会員同士の共通の話の語らいに、そしてお互いの近況の語らいに、新しい思い出をつくりませんか。

今後、むらさき会は、一歩、一歩歩んでまいります。会員の皆様のご協力をよろしく御願ひ申し上げます。

追憶



山村学園理事長
山村 寛先生

年月の経過は早く感じられませんが平成十八年七月十一日は、山村ゆみよが亡くなって満十年になります。

先日七月九日(日)には福島ミヤ子さん、中島寿子さん、松原君江さんの三名の方が天気の悪いのに養寿院にある山村家の墓に花をそなえて、更に掃除までしていただきましたありがとうございます。

うございました。

ここで三名について簡単に記しておきます。

福島さんは、むらさき会の副会長として同窓会のために尽力をして頂いております。

中島さんは、平成六年から西武池袋線の武蔵藤沢駅より通勤をして、ゆみよの看護をお願いいたしました。非常に細かい所まで行き届いた面倒を見ていただき、安心してまかせることができました。ゆみよごき後も、家の中の片付けと留守番をしていただき九年三月まで勤めました。

松原さんは、昭和二十三より六年間、小仙波宅のお手伝いとして、住込みで勤めて頂きました。結婚後、二人の娘さんは当時の山村第二女子高等学校(現在の山村国際高等学校)を卒業させております。お子さんの在学中は後援会の理事として学校のために協力してくださいました。

七月十一日の命日には私・佐久間晴江・良子・翔の四人墓参りをいたしました。その時に十年前の事が思い出されました。平成八年七月八日の昼食に好物の「いちのや」のうなぎ弁当を取り寄せておいしく食べている姿が浮かんできます。

七月十一日は、朝から暑い日でした。午後小仙波宅より電話があり、所沢市三ヶ島の根岸さんが見舞いに見えたとの連絡がありましたので学校よりいきました。

根岸藤枝さんは、故山村要二の生家に関係のある方で、当時の川越高等家政女学校を昭和二十四年に卒業して、教員免許を取得し主に所沢市周辺の小学校に定年まで勤務いたしました。その後は民生委員として三百軒の家庭を受け持ち地区のために貢献いたしました方です。

根岸さんは、午前中に仕事を終わりにして、今日川越のお宅

に行かなければ二度と話しをする機会はないと気になり見えたとの事でした。寝ている側にいつか話しかけると笑って答えておりました。

暫くしてなんとなく様子がおかしいので柴野先生の先生に連絡して来ていただきましたが、午後四時四十五分に私・佐久間春江・根岸さん・中島さん・お手伝いの布施さんの見守る中で、昼寝の延長のように永遠の眠りにつきました。

その顔は微笑んでいて、声をかければ再び目をあけるのではないかと感じられました。

根岸さんは今日きてほんとうによかった。話もできたし、最後をみとどけることもできたといつて、涙ぐんでいたのが印象に残っています。

学校はわがいのちの言葉のように、私学経営一筋に歩んだぬみよの人生は九十二年十月で終わりをつけました。

卒業アルバムにあった「微笑」をのせておきます。

微笑

微笑は、心の中にある光が、唇の端からこぼれ出す。それは、春の空に咲く花のように、静かに、そして、やさしく、人を癒す。微笑は、心の扉を開き、愛を伝える。微笑は、人生の道に、光を照らす。微笑は、心の中にある光が、唇の端からこぼれ出す。それは、春の空に咲く花のように、静かに、そして、やさしく、人を癒す。微笑は、心の扉を開き、愛を伝える。微笑は、人生の道に、光を照らす。

山村学園 山村ゆかり

第34回 むらさき会総会を終えて

夢のために

三科 薫

私が山村国際高等学校を卒業して、早くも三ヶ月が過ぎようとしています。私にとつて、高校生活はたくさんの経験をすることができ、とても充実した三年間でした。

レシテーションコンテストでは、友達と一生懸命練習したり、伊藤先生に熱心に指導していただいたお陰で優勝することができました。これを機に、英語力に自信を持てるようになり、英語を学ぶのも前より楽しくなりました。

高校最後の文化祭は、特に印象深い行事になりました。軽音楽部での演奏は、たくさんの友達や家族など大好きな人達が見に来てくれ、今まで演奏した中で一番盛り上がり、楽しいライヴになりました。後夜祭では、クラスのみんなでダンスをし、大成功を遂げました。

たくさんの素晴らしい思い出と共に私は卒業し、この山村学園短期大学の保育学科に入学しました。自分の将来の夢である幼稚園教諭になるために必要な技術や知識を身に付けるために、勉強し日々努力しています。

二年間という短い学校生活の中では学ぶ事が多く、大変だと思いますが、同じ夢を持った友達同士協力し合って、一緒に夢に向かって頑張っていると思います。

これからの短大生活は、高校生活で得た経験を生かし、毎日充実した日々を送り、自分自身を大きく成長させて、立派な保育者になりたいと思います。

(山村国際高等学校卒業 現在、山村学園短期大学在学中)

おめでとうございます

平成十八年 春の叙勲で
瑞宝雙光章を受章

保護司 峯岸 愛子様
川越高等家政女学校
(昭和24年卒業)



ご案内

山村女子高等学校
ふじどの祭

9月23日 (祝・土)
10:00~
9月24日 (日)
9:00~

山村国際高等学校
紫藤祭

9月16日 (土)
10:30~
9月17日 (日)
9:00~

山村学園短期大学
山緑祭

11月11日 (土)
10:00~
11月12日 (日)
10:00~

「出会う」ということ

加藤 充代

今年の総会も滞りなく終りむらさき会会員の皆様に御礼申し上げます。

さて私が山村学園にお世話になって生徒で三年、教員で二十五年という長い歳月が過ぎました。この合わせて二十八年間というものは私に出会いのすばらしさを教えてくれました。山村女子高校で過ごした生徒の三年間は、山村ゆみよ先生、担任の竹内一三先生を始め多くのすばらしい先生方に出会い、充実した三年間を過ごすことができ、また私の進むべき道を具体的に示してくださいました。

そして大学に進み、教員への道を目指しました。

大学卒業後、今度は教育としてまた学園にもどってやることができました。私は現在、山村国際高校の教壇に立っています。

ここでの出会いは生徒との貴重な出会いでした。

生徒から教員という立場が大きく変わったのは、たぶん生徒だったと思います。そんな生徒達にどれほどのものを返せるかわかりませんが、学園での多くの出会いを糧として果立っていかれることを期待しています。



「はじめまして」

平成十七年度卒業生

大久保 宏美

こんにちは。この春、山村女子高校を卒業した大久保です。

私の高校生活を振り返ってみると、文理コースで大学進学をめざしていたため、勉強中心の忙しい三年間でした。しかし、そのような学校生活の合間にある、修学旅行や文化祭などの行事はととても楽しかったです。特に修学旅行は戦争について学ぶ反面、海や水族館へ行ったりして、一番思い出に残っています。

そして現在、私は東京にある大学に通っています。東京といっても閑静な場所、大学内にはチャペルがあって良い所です。大学の授業は講義や討論など様々な形式があり、慣れるまでが大変でした。今は、高校の時よりも時間に少し余裕があるので、趣味に没頭して毎日を過ごしています。

身についたよろこび

長峰 す美子

在校当時の思い出は「礼」です。朝、校舎に向って一礼、心の中で「今日も一日、よろしくお願ひします。」校門をくぐり、帰りには、今日の一日に感謝をし、校門を出て振り返り、姿勢を正し、おじぎをする。この動作は社会人に出てから、とても役立ちました。人生において、頭をさげ挨拶をすることは、とても大切なことです。貴重な

ご指導を頂いたと、有難く思っております。あと一つは、一年時の掃除の時間でした。今は亡き、ゆみよ校長先生が教室にこられました。私は、箒を使い板目にそって掃いておりました。

「そうそう、箒の使い方がとても上手ですね。」と一言ほめて下さいました。なにげに手を動かしていたことを、改めてほめて頂いたこと、嬉しく思っております。最近では、掃除機にたよる、箒を持つ時間が減ってきておりますが、箒を持つ度に、校長先生のお言葉が思い出されます。

感謝

平成十七年度卒業生

浅野 真由

私にとっての山村女子高等学校は、明るく活発で目標を持って生き生きと活動出来る場所でありました。そして、在校当時には気づかなかった良さを、今実感しています。

一年生の時は生井先生のご指導の下、常に目標を高く持ち続け、その目標に向かって日々努力する事の大切さを学びました。「Average is onehundred」をクラスの合言葉に、小テストではクラス平均百点を目指して切磋琢磨し合い、放課後では他のクラスが下校する中、英語の小テストを行い、合格点に達するまでは何度も受け続けました。また先生独自の英語プリントを課題としてこなし続けました。これらの事をこなし続けるのは厳しくもあり大変なものでした。しかし成し遂げた事によ

り、英検二級を習得し、さらに高い英語力を獲得する事が出来たのだと思います。

二、三年生の時は神内先生のご指導の下、どんなに苦しくても最後まで諦めずに努力し続ける事、自分の力で運び抜き、選んだ事に責任を持つ事を学びました。高校入試とは比べものにならないほど桁違いである大学入試に向けて、先生は「受験は自分だけでなく、誰もが苦しいものだ。」「いつかやる、いつかやると言ってやらなければいつかは来ない。」「やめる事はいつでも出来るのだから、最後まで諦めるな。」とおっしゃって下さいました。当時は、多数ある大学の中から自分の志望する大学を選び出し、それに向けて勉強を継続し、最終決定を下す事は非常に苦しく苦しいものでした。何度も自分の目標を見失いそうになり、勉強する事自体が嫌になってくじけそうになりました。第一志望の推薦に不合格になった時には、本当に諦めてしまいたいそうになりました。しかし、先生の言葉を思い出し、最後まで諦めずに努力したからこそ、私は第一志望の大学に合格し、大学生活を送る事が出来るのだと思います。先生の言葉が励みになりました。山村女子高等学校は、生井先生神内先生をはじめ、多くの先生方が、生徒の事を本気で思い、生徒のために活動し、生徒を温かく見守っている学校です。その様な先生方に支えられ、卒業出来ました事に感謝の気持ちでいっぱいです。

山村女子高等学校だより

— 学校行事の充実を —



山村女子高等学校
校長 下田 宏吉 先生

むらさき会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。先日はむらさき会総会にお招きいただき、同窓会の素晴らしいまとまりを感じ、永い伝統を誇る本校の女子教育の良さをうかがえました。

平成十八年度になり、前期始業式では、次のことを生徒にお願いしました。それは、明るく楽しい、しかも充実した学校生活を送って欲しいということです。そのためには高い志を掲げること、そして夢や目標を確実に持つことです。

学校生活を楽しく充実させることは、とても大切なことです。まず授業を大切にして進路の実現に結び付けることです。本校の進学実績は成長著しく、週刊紙にも掲載されています。しかも現役の進学率も大幅に伸びています。

また、部活動の実績については、その活躍ぶりも高く評価されています。そして、学校行事については、進学実績の更なる向上とともに充実させて欲しいと強くお願いしました。学校行事は、生徒がお互いに協力しながらひとつの力を成し遂げていくものです。相手を気遣い理解することで、自分自身を発見することにもつながり、その

大切さを改めて実感するのが学校行事であると思います。

春に定着した体育祭、今年もたくさんの保護者の方をお迎えして盛大に実施できました。準備期間もない中、生徒の手で企画から運営まで完全に実施できたことは素晴らしい一言に尽きます。

特に学校行事の中で最大なもの、沖縄で行われた二年生の修学旅行です。目的は「平和学習」と「沖縄の自然などに接する」ことで、三年前より実施され定着しています。沖縄の地を訪れて、「真の平和」について学ぶことが本校の重要なテーマとなっています。そして戦争の悲惨さと平和の尊さを直接現地で学びとって「平和の誓い」を決意として固めて欲しいために、この修学旅行を実施して大いに教育効果を高めています。

最後に、むらさき会の更なる発展を祈念するとともに、本校に対するご指導・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



山村女子高等学校

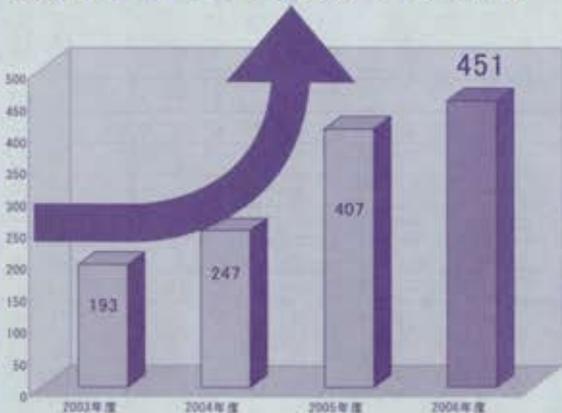
2006年度の進学実績

国公立難関私大への現役合格者数は年々上昇！山村女子高等学校では、既存のスタイルにとらわれず「知識」の集大成である「真の学力を伸ばす」ことにこだわり続けています。

◎大学進学率 **UP!!**
50% → 61%

◎現役合格率 → **95%!!**

◎大学合格推移(延べ人数)



〈国公立大学〉

大学名	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
一橋大学		1		
お茶の水大学		1		
電気通信大学			1	1
東京外語大学				1
東京学芸大学			1	
埼玉大学		2		
埼玉県立大学	1	1		1
都留文科大学	1			
京都府立大学		1		
高崎経済大学				1
合計	2	4	4	4

〈難関大学〉 早慶上智理科・MARCH

大学名	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
青山学院大学		1	2	5
慶応義塾大学		2	3	
上智大学		2		1
中央大学		2	15	6
法政大学		4	6	8
明治大学	1	3	1	6
立教大学	2	3	6	9
早稲田大学		1	3	2
立命館大学		1		
東京理科大学				2
合計	3	19	36	39

〈主な私大・女子大〉

大学名	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
津田塾大学	1	1		1
学習院大学	2		1	2
日本大学	10	9	19	17
成城大学	1	2	6	1
成蹊大学			7	2
東洋大学	19	23	17	32
駒沢大学	3	3	14	9
専修大学	1	1	7	3
東京女子大学	4	4	8	8
日本女子大学	1	4	15	6
大東文化大学	16	13	23	19
女子栄養大学	1	1	7	5
東京国際大学	6	6	26	15
その他	122	155	210	278
合計	187	222	360	398

〈薬科・獣医・看護系大〉

大学名	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
共立薬科大学			1	
日本薬科大学		1	1	1
帝京大学		1		2
麻布大学	1		1	
北里大学	1		2	1
城西大学			1	2
東京女子医科大学			1	
埼玉医科大学				1
昭和薬科大学				1
日本大学				1
武蔵野大学				1
合計	2	2	7	10

近況報告



山村国際高等学校
校長 船津和信先生

むらさき会会員の皆様には、日頃から本校教育の充実発展のため、温かい御支援を頂いておりますことに、心から御礼申し上げます。私は、石川富夫前校長の後任として、四月からお世話になりました。前校長同様、宜しくお願いたします。

平成十八年三月二日、百八十五名の卒業生が、むらさき会に仲間入りさせて頂きました。誠に有難うございます。

さて、会員の皆様も御案内のように、本校では、今年度から、全てのコースを男女共学として生徒募集を行いました。その結果、七十三名の男子生徒を含む二百五十一名の新入生を迎え入れることができました。現在、六百十三名の生徒が勉学に部活動等に熱心に取り組んでいます。また、サッカー部の創設に伴い、田口禎則氏と奥田利雄氏をコーチとして招聘しました。十八名の一年生男子部員が入部し、過日行われた西部支部U-16リーグで活躍しています。

次は、平成十七年度卒業生の進路状況です。今年も生徒の皆さんの頑張りと努力により、昨年以上の成果を収めることができました。特に大学進学では、国立大学には富山大学へ。私立大学には学習院大学・学習院女子大学・



今後一人ひとりの生徒を大切にしながら、明るく楽しい学校づくりを推進し、生徒の皆さんからは「山村国際高等学校に入学して良かった」、保護者の皆様からは「山村国際高等学校へ入学させて良かった」と言われる学校づくりが鋭意努力いたします。むらさき会会員の皆様の御支援を宜しくお願い申し上げます。

専修大学・東京女子大学・日本大学・法政大学・成城大学・玉川大学・東洋大学等々いわゆる有名大学に現役合格の実績を残してくれました。このことは、後に続く後輩たちに大きな希望と勇気を与えてくれることとなります。引き続き、進路指導や教科指導の充実に努めて参りたいと存じます。

第三は、例年力を入れていた指導、「礼儀正しく、制服を正しく着る」等の「しつけ教育」であります。確かな学力を身に付けるには品性溢れる若人の育成が基本です。本校の長い歴史の中で「しつけ教育」に全校を挙げて取り組んでいる所以は、そこにあるのです。

山村国際高等学校の進路指導

『進路指導は、本来どうあるべきか』

平成18年度は、上記テーマに沿って、以下の目標で進路指導を展開しています。

目標1 生徒の適性を導き出し、最も適した進路を実現させる

本校生徒のおよそ半数は、短大や専門学校に進学しています。このことから、生徒一人ひとりに自己の適性をしっかり把握させ、生涯にわたって生かすことのできる知識や資格の取得できる最適な学校選びを指導しています。

目標2 偏差値55を超える学力を身につけさせる

特別進学コースが編成され、5回の卒業生が巣立っていきました。それまで、大学進学者はほんの一握りだった本校ですが、ここ数年は、毎年国立大学や難関私大に複数合格できるまでになりました。

今年は、更なる飛躍を目指し、大幅なレベルアップを図っています。

- 1 特別進学コースは、原則全員が国立大学を受験します。
- 2 特別進学コースは、私立大学は明治大学以上に合格させます。

1 主な進学先 表1

国公立大学	14年度	15年度	16年度	17年度
埼玉大学	2			
信州大学			1	
都留文科大学		1		
富山大学				1

私立大学

私立大学	14年度	15年度	16年度	17年度
学習院大学	1			1
学習院女子大学	1			1
北里大学		1		
國學院大学		1	3	
国際基督教大学			1	
駒澤大学		1	1	
上智大学			2	
成蹊大学	1		1	
成城大学				1
専修大学				1
中央大学			1	
津田塾大学			1	
東京女子大学				3
東京理科大学		2	1	
東洋大学	5	4	3	6
日本大学	1	1	3	2
日本獣医畜産大学			1	
法政大学		1	1	1
武蔵大学			1	
明治学院大学				1
立教大学	1			
早稲田大学			1	

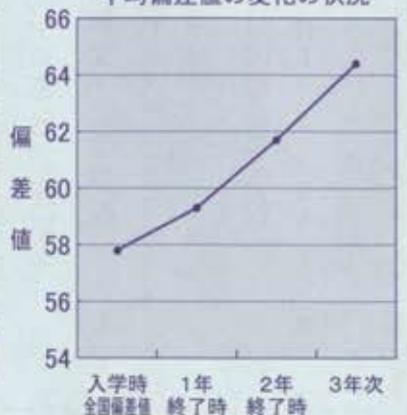
2 3年間における成績の変化の例 表2

合格大学	入学時 全国偏差値	1年 終了時	2年 終了時	3年次
法政大学	54.4	63.3	59.0	70.1
都留文科大学	60.3	58.9	60.7	66.5
信州大学	62.6	64.4	65.4	63.0
津田塾大学	59.4	59.6	58.7	61.6
法政大学	54.2	57.2	62.0	
早稲田大学	66.2	64.9	75.2	
成城大学	47.0	47.5	53.0	
法政大	58.6	58.6	59.6	60.7

平均偏差値	57.8	59.3	61.7	64.4
-------	------	------	------	------

※空欄は3年次での模試結果のない生徒

平均偏差値の変化の状況



山村学園短期大学の四季



山村学園短期大学
学長 山村 健先生

平成元年の本学の開学以来、はやくも十七年余の歳月が流れましたが、キャンパスをとりまく緑ゆたかな比企丘陵の自然の美しいたたずまいには飽きることを知りません。四季折々にやさしく心を和ませてくれるキャンパスの自然をいくつか綴ってみたいと思います。

春

冬の眠りから次第に目覚めていく雑木林の美しさは格別です。寒風に吹かれてふるえていた枯れ木のような雑木林が、はじめはひっそりと、やがて活き活きと生気を蘇らせていく様には、独特の美しさを感じます。かすかな透明の色合いは朝と夕べでは微妙な変化を見せ、さらに日ごとに色づいていく息吹には深い感動を覚えずにはいられません。

夏

梅雨があけて紺碧の空にそびえ立つ入道雲が本格的な夏の到来を告げます。しかし、標高はさほどありませんが、起伏に富んだ丘陵を吹き抜ける一陣の風の涼味は格別です。夏季休業中とはいえ、秋の文化祭（山緑祭）の準備や夏期講習や進路相談などでやってくる学生たちも、真夏の暑さを和らげられるひとときの風に、冷房では味わえない自然を楽しんでいるようです。

秋

キャンパスの秋の風物詩の筆頭は何といっても夕焼です。はるかに望む秩父連山のかなたに沈む太陽が演ずる壮大なドラマには、思わず息をのむ思いです。

冬

「あした天気になーれ！」はるかに富士山がくっきりと白い頂を見せる美しい夕焼は、明日の晴天を約束してくれます。

キャンパス一帯を白一色に染めあげる雪の演出は、やはり冬一番の楽しみです。キャンパスには雪が舞っているのに、車で十分足らずの東上線高坂駅にはその気配すらないこともしばしばです。微妙な比企丘陵の地形が与えてくれるやさやかなプレゼントです。しかもこのプレゼントは、幸いにもいくばくもなくあらかた消えてくれるものありがたいことです。

はじめにも申し上げたように、この地に「住みついて」はやくも十八年目を迎えますが、キャンパスをとりまく自然のたたくまいは、今も昔とまったく変らぬ四季折々の美しい姿で私たちを包んでくれます。

機会がありましたら、どうぞ山村学園短期大学を訪ねて、キャンパスをとりまく自然を堪能してみてください。



山緑祭

自然に囲まれたキャンパス
(学校案内より)

編集後記

皆様のご協力により、「むらさき会だより第十号」が出来上がりました。今回は、会報を発刊して十年になります。学園の発展の姿や会員のみなさまの近況等載せさせていただいております。会報の名前は、校章の「藤」の色から、発行日は、創立者の山村ゆみよ先生の誕生日です。

この会報が、会員の皆様と学園を結ぶことができれば、こんなうれしいことはありません。ご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

むらさき会 平成18年度役員一覧

- 会長 田中 久子
- 副会長 伊藤 勲子
- 野島 康子
- 福島ミヤ子
- 顧問 山村 寛
- 下田 宏吉
- 松津 和信
- 小林 豊子
- 事務局

むらさき会連絡先

山村女子高等学校

☎ 049-225-3565

〒350-1113 川越市田町16-2

山村国際高等学校

☎ 049-281-0221

〒350-0214 坂戸市千代田1-2-23